

高宮商店街振興組合

どんな商店街？

西鉄高宮駅を中心とした半径1km内を商圈とする点在型の商店街です。商圈は5校区(大楠・西高宮・大池・若久・玉川)にまたがり、福岡中心部にアクセスが良く駅前に住宅地が広がります。利便性が良い分、特に若者は福岡中心部での消費が多くみられ、来街者は生活必需品を購入するのが主な目的です。地元自治協議会と餅つき大会の共同開催や青色パトロールカーでの巡回業務等で連携しています。



第12回高宮秋まつり

地域の活性化と加盟店のPR・来客等を回復させるために

1. 商店街の課題

コロナ禍で低迷していた人出や消費が回復傾向にある中、早急に以前の状況に回復させるための、**にぎわいの創出・活性化が必要**です。また、イベントの増加や定期的・継続的な実施を考えていますが、人材不足により困難な状況です。

2. 「第12回高宮秋まつり」を開催

14の加盟店による飲食・遊戯関係の出店と、約12の加盟店や地域団体による舞台で構成。遊戯系の出店や子どもの舞台を増やしたことで、子どもが演技を披露でき、親子で楽しめる祭となった。当日は、西鉄高宮駅の乗降客も多く来場した。

当日は、地域商品券「高宮Pay」の活用促進、高宮八幡宮「秋季大祭」とのコラボ、「高宮秋のスタンプウォークラリー」などを実施し、高宮エリアの回遊性促進に取り組んだ。



3. 効果があったと思われること

- ・スタンプラリー取扱店: 前年比233%増
- ・スタンプラリー参加者: 前年比微増
- ・高宮Pay利用者: 前年比1.18%増

4. 来街者の声・会員さんの声

○来場者の声

- ・イベント会場が駅から近いので、気軽に来て色々楽しめた。

○会員さんの声

- ・お店に来る常連さんや会員同士、地域住民との情報交換ができた。

5. 反省点や今後の取り組み

広場の手狭対策(混雑、事故防止のために)として、近隣の商店街加盟施設(高宮庭園茶寮・高宮八幡宮・最上稲荷常光寺)との回遊型によるイベント開催を模索していきたいです。例えば、毎年10月を「高宮エリアイベントマンズリー」として分散化することで長期間、広域的に多彩な催しで地域の活性化、話題性による商圈地域外からの集客が見込める可能性を模索していきたいです。福岡市南部商店街連合会が実施する「はしご酒」と連携することで、より効果的なイベントとしていきたいです。検証結果からマンネリ化の傾向が見られたため、マンネリ化解消策として、賞品の当選数の拡充や目玉賞品の新設、物販・サービス系も参加可能なイベント内容にする、などの方法も検討していきたいです。



ステージパフォーマンスを楽しむ方々